

～ 多電極挿入型電磁流量計の採用事例 ③ ～

《狭い場所でも設置可能。新設配管にもメタルマルチマグ》

お客様：C町水道課様 / 配管口径：150A / 用途：井戸取水流量計（新設）

井戸の取水施設の建設に伴って、配管と流量計の新設を検討中であつたC町水道課様。当初、フランジ型電磁流量計の使用を考えていましたが、敷地が狭く、ピットやバイパス管も含め、スペースの確保が困難でした。

ここでは、以下のメタルマルチマグのメリットが活かされました。

- ・狭いスペースで設置が可能
- ・メンテナンスにもバイパス管不要
- ・配管新設時には穿孔工事も不要

メタルマルチマグのセンサは、最小で1号マンホール(内径：900mm)程度のスペースで設置が可能であり、バイパス管も不要なため、狭い場所でも設置ができ、コストも縮減できます。メンテナンス時の赤水の心配もなく、新設配管でのメタルマルチマグのご採用が増えています。

今回は本管部分も新設ということで、センサ挿入部には三フランジT字管を使用することにより、穿孔工事も不要でした。

※ メタルマルチマグの基本的な測定対象流体は、ろ過後の水道水清水のため、井戸水などで使用した場合、センサの清掃が必要になることがあります。ただし清掃も不断水で行うことができます。

《C町水道課様 施工例》



1号マンホールピット



T字管での設置例